



KIKIGAKI



発行者：聞き書き甲子園実行委員会

聞き書き壁新聞 2025

<https://www.kikigaki.net>

発行日：2025年5月

取材先は全国に広がる15の地域



24th 聞き書き甲子園

森・川・海の名人に会い、暮らしを知り、につぼんの未来に繋ぐ。

第24回聞き書き甲子園では、全国から参加する高校生が森・川・海の名人の仕事場を訪ね、その知恵や技、人生を1対1で聞き書きします。今年参加する高校生が取材するのは、全国15の地域で暮らす名人たち。その仕事は、樵、造林手、木工職人、大工、漁師など、さまざまです。自然と関わる仕事をしながら、人たちの知恵や技術を受け継いできた名人たちの言葉には、未来を考えるためのヒントが詰まっています。聞き書き甲子園に参加して、知らなかった世界に一步ふみ出してみませんか？

聞き書き甲子園の1年

6月23日まで
応募する

参加者に
選ばれた！

8月16・19日
研修 都内・宿泊アリ

9月
取材をする①
名人に
アポを取る

10月
取材をする②

12月
作品にまとめる

3月下旬
フォーラム
(成果発表会)

冊子に
なる

名人のところに
また訪ねていきたいな。

参加者の声

私は、うなぎの塚漁の見学をして、魚一匹を獲ることの苦労と実態を知りました。名人は「自然を私たちが整え、少しの恵みを頂く」という、印象深い考えを教えてください。塚作業をしながらそう語る名人さんの姿は大きくかつこよく見えました。(福岡県Kさん)

聞き書き抜粋

木造船に想いを乗せて

【名人】番匠 光昭 (富山県水見市)
【聞き手】小林 華音 (東京都大妻中野高等学校2年生)

頑固な親父と俺

俺は中学生の時から親父のもとで仕事してたもんで、親父には「船大工に学問はいらん、高校に行くな」って言われた。(中略)でも俺が一人前の船大工になったのは、親父に厳しくしてもらったからなのかなと思うから、感謝してるよ。

波乱万丈な人生

俺は木造船とFRP(繊維強化プラスチック)の船の両方をつくってきた。(中略)10年間、FRPの船ばかりつくってたんだけど、木造船も船大工もだんだんいなくなってくるのが寂しいなあと思うようになった。そんな時、氷見市立博物館の学芸員が、木造船を復元してくれんか、木造船集めせんか、という話をもちかけてくれた。それで活動してるうちに、船大工も悪くないなあと思うようになったんよな。(中略)大変なことがいっぱいあったけど、逆に苦労してきたから今に繋がってるんやと思う

集まれ、高校生。

【募集内容】●参加資格 高校生 ●募集人数 93人 ●参加条件 事前研修に参加すること。取材を行うことができること。(※)また、聞き書き作品を期日までに提出すること。●※公共交通機関を利用した長距離の移動、グループワークや講義への参加、団体での宿泊に問題がないこと。これらに特別な配慮が必要な方は、応募の前にお問い合わせください。●参加費 無料(事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します) ●応募方法 参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局までお送りください。

そがなペースで編んでいく

【名人】多久間 博子 (岡山県真庭市)
【聞き手】安住 愛華音 (鳥取県立鳥取西高等学校2年生)

がま細工にであうまで

(中略) 近所の人が冬仕事で、がま細工しとられたんよ。先輩が一緒習いにいこう言うて、そこに遊びに行きよった。そうしたら、ああできるかもわからんなあ思うて、冬の間習ったんよな。

ファミリーマートは、「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。

ファミリーマートは、2006年から「ファミリーマート夢の掛け橋募金」として店頭募金を実施し、NGO/NPOと連携して、子どもたちと地球の未来のために活動しています。国内のファミリーマート店舗で行われているこの募金は、株式会社ファミリーマートからの企業寄付と合わせて、様々な団体に寄付されています。その一部は、公益社団法人国土緑化推進機構への寄付を通じて、「聞き書き甲子園」の活動を支援しています。

あなたと、コンビニ、
FamilyMart

手動と電動の融合

和船船大工と言っても、使う道具は全部昔ながらというわけではない。(中略) 理屈が分かるとれば、電気道具を使っても、手作業でつくったようになるからな。木工職人は木の性質をしつかり覚えなくちゃならん。上手に道具を使うのが日本の職人なんや。だからこそ俺は、最後まで職人でありたいんだよな。

木造船づくりは人生そのもの

仕事はやつとる時は大変やけど、船づくりが仕上がってくると楽しいんや。達成感があるから頑張れる。お客さんが喜び姿をイメージしながらつくってるからな。(中略) 船大工という、いずれはなくなる職業のことを伝えていくのも、俺の役目なんじゃないかと思うよな。

そがなペースで編んでいく

【名人】多久間 博子 (岡山県真庭市)
【聞き手】安住 愛華音 (鳥取県立鳥取西高等学校2年生)

がま細工にであうまで

(中略) 近所の人が冬仕事で、がま細工しとられたんよ。先輩が一緒習いにいこう言うて、そこに遊びに行きよった。そうしたら、ああできるかもわからんなあ思うて、冬の間習ったんよな。

編むときは干したときの硬さよりちよつと柔いほうがええけえ、熱い湯で締める。紐で縛って一晩置いといて、明るる日それを使って編むんだ。(中略) 1人で1つの作品を仕上げるんです。はじめから終わまで。大体1つ作るのに詰めてしても3日かかるわ。

続けてこれた理由

私は昭和の15年生まれだけえ。「無理だけえ辞める」なんてことできんけえなあ。若い人とは違うて、そがな時代を生きてきたから続けてこられたと思うよ。

であえてよかった

子どもの時はなあ、将来の夢なんて考えて無かったなあ。戦後っていうのもあったかも。がま細工してなかったら私縫い物しよと思う。(中略) 私にとって、がま細工は仕事でもあつて趣味でもあるんよ。近くでやつとつたおかげで私も習えた。(中略) 今はがまとであえたことが一番幸せですね。もうただただ、がまを教えてもらった先輩と今いる会員のみんなに感謝しています。(第23回聞き書き作品集より抜粋)

What is KIKIGAKI?

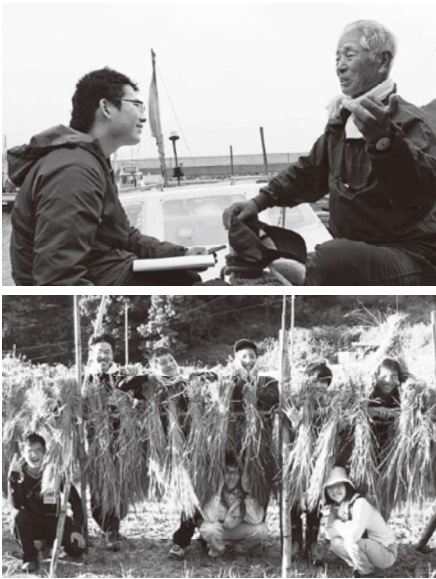
Q1. 聞き書き甲子園とは？

日本は、面積の約7割を森林が占め、周囲を海に囲まれています。そして地域ごとに異なる気候や風土、文化、暮らしがあります。

聞き書き甲子園は、全国から選ばれた高校生が、日本各地の森・川・海の名人を訪ね、一対一で「聞き書き」するプロジェクトです。

高校生は、名人が働く仕事を訪ね、先人から受け継いできた仕事や生き方について学びます。名人との対話は録音し、すべて書き起こして作品に仕上げます。その過程で高校生は単に知識だけではなく、名人の生きる姿勢に学び、自身の将来や進路について考えるようになります。

名人が大切にしてきた、自然とともに生きる知恵や技術、そして心。そこには、これからの持続可能な社会をつくるヒントがあるのかもしれない。



Q2. 「聞き書き」って何？

「聞き書き」の基本は、「聞く」というコミュニケーションです。高校生は、名人と一対一で出会い、インタビューをします。二人の対話は録音し、一字一句、書き起こします。書き起こした文章は、名人の語り口を生かしながら整理し、名人の一人語りの文体にまとめるのです。その過程で高校生は、名人の言葉を何度も繰り返し、反芻します。

ある高校生は言いました。

「名人の話は、いつの間にか自分が言いたいこと（伝えたいこと）になった」

名人が語る仕事や、名人が暮らす地域のことは、高校生にとっては、はじめは「他人ごと」です。しかし、作品をまとめる過程で、名人への共感や敬意とともに「自分ごと」に変わるのです。その結果、高校生と名人は、本当の祖父母と孫のような深い絆を育みます。

Q3. 聞き書き甲子園に参加すると、どんな変化があるの？



視野が広がる

名人の仕事場を訪ね、現場を見て、歩き、話を聞く。その技や知恵を学び、多様な生き方や働き方を知ることで、知識や視野がぐんと広がります。



自分と向き合う

名人との対話を何度も反芻し、その人生としっかり向き合うことは、高校生自身が自分を見つめ直し、再発見することにもつながります。



未来をつくるヒントを得る

全国から参加する仲間と名人、さらに高校生をサポートしてくれる卒業生の先輩たち。「聞き書き」での出会いは、自分の未来を考えるヒントになります。

聞き書き甲子園をもっと知るための「6つの質問」

Q4. 名人ってどんな人？

名人は、森・川・海の仕事に長年従事する中で、先人の知恵や技、心を受け継ぐ人々です。その職種は、樵（きこり）、炭焼き、木工職人、大工、漁師、海女など、さまざまです。「聞き書き甲子園」では、高校生の受け入れに協力する市町村から推薦いただいた名人に一対一で「聞き書き」します。



Q5. どの地域の名人に、「聞き書き」するの？

第18回開催（2019年度）より、全国の高校生の受け入れと地域の名人の推薦に協力いただく市町村（地域）を毎年公募し、実施することになりました。高校生は、それぞれの地域から推薦いただいた森・川・海の名人を訪ね、「聞き書き」します。

【本年度の受け入れ地域】秋田県藤里町 / 岩手県東稲山麓地域（一関市舞川地区・奥州市生母地区・平泉町長島地区）/ 尾瀬流域連携地域（福島県南会津町・群馬県片品村）/ 群馬県上野村 / 神奈川県相模原市（緑区青根・牧野地域）/ 木曽川水系上下流連携地域（愛知県大府市・長野県木曽町）/ 岐阜県郡上市（石徹白地域）/ 京都府京都市 / 奈良県吉野町 / 岡山県新庄村 / 岡山県備中地域（笠岡市・高梁市・総社市）/ 愛媛県松野町 / 大分県日田市（筑後川上流地域）/ 宮崎県椎葉・西米良地域（椎葉村・西米良村）/ 鹿児島県いちき串木野市



Q6. 「聞き書き」について、もっと知るには？

BOOKS



聞き書き作品集

高校生の聞き書き作品は、年度ごとに冊子にまとめています。購入を希望される場合はHPからお申し込みください。

MOVIE



映画「森聞き」

「聞き書き甲子園」に参加した4人の高校生と名人のドキュメンタリー映画です。上映希望者には、有料で貸し出しいたします。

WEB



聞き書き甲子園公式ウェブサイト
<https://www.kikigaki.net>

「聞き書きの本棚」では、高校生や名人に関するエピソードとともに、これまでの聞き書き作品を紹介しています。また、公式YouTubeチャンネルでは取材のしかたなどを学べる動画を公開しています。

聞き書き電子図書館
<http://lib.ruralnet.or.jp/mori/>

過去の作品と名人のプロフィールを検索し、閲覧することができます。作品の全文をご覧いただくには、登録が必要です（有料）。

24th 聞き書き甲子園

参加申込書

【参加資格】高校生【募集人数】93人【応募〆切】2025年6月23日(月)必着

【参加条件】事前研修に参加できること。取材を行うことができること。(※)
※選考結果は7月末までに郵送で通知します。
また、聞き書き作品を期日までに提出すること。※公共交通機関を利用した長距離の移動、グループワークや講義への参加、団体での宿泊に問題がないこと。
これらに特別な配慮が必要な方は、応募の前にお問い合わせください。

【参加費用】無料

【応募方法】ウェブサイトからご応募ください。もしくは、参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局まで郵送ください。

【表彰】農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞、林野庁長官賞、ファミリーマート特別賞等

【お申し込み・お問い合わせ先】〒156-0043 東京都世田谷区松原1-11-26 コスモリヴェール松原301

聞き書き甲子園実行委員会事務局 (NPO法人共存の森ネットワーク内)

TEL:03-6432-6580 / E-mail:contact@kikigaki.net

聞き書き甲子園

ウェブサイトはこちら。

<https://www.kikigaki.net>



フリガナ			生年 月日	西暦
氏名			年 月 日生(歳)	
			性別	男 女
住所	〒()		本人携帯番号()	
E-mail				

※普段から使用している本人のEmailをご記入ください。

フリガナ			年 組
高校名			
高校所在地	〒()		電話番号()
フリガナ	参加者との関係		
担当教員	☐ 担任 ☐ 部活顧問 ☐ その他 _____		

※緊急時等に事務局と高校生との連絡・調整をしていただく場合があります。

交通手段	自宅 →
自宅～東京駅、 または羽田空港まで	→ 東京駅または羽田空港

※自宅から東京駅または羽田空港までの交通手段(JR、飛行機、高速バス等)をすべてご記入ください。ご記入いただいた情報をもとに、8月16～19日の研修参加チケットを手配します。

保護者氏名	(印) ※「保護者氏名」欄に押印がない場合は、受理できません。 また、「保護者氏名」欄は、原則として保護者本人がご記入ください。		
住所	〒()	ご自宅電話番号()	
		携帯電話番号()	
		E-mail()	

※住所は参加者の連絡先と異なる場合に記入してください。※保護者のE-mail 欄に、高校生本人のE-mail は記載できません。※自宅電話をお持ちでない方は「なし」とご記入ください。

自己PR	
あなたの長所や経験、 特技、将来の夢などを 書いてください。	

24th 聞き書き甲子園



森・川・海の名人に会い、ニッポンの歴史と伝統、自然を未来に!!



KIKIGAKI



【主催】聞き書き甲子園実行委員会 (農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO 法人共存の森ネットワーク、NPO 法人地球緑化センター) 【募金協力・企業寄付】株式会社ファミリーマート 【協賛・協力】公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会、富士フィルムホールディングス株式会社、京王電鉄株式会社、株式会社ティムコ、公益財団法人SOMPO環境財団、株式会社ベネッセコーポレーション 【後援】総務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国山村振興連盟、一般社団法人全国過疎地域連盟、NPO法人「日本で最も美しい村」連合

ファミリーマートは「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。

あなたと、コンビニ。
FamilyMart